

第 4 回

開催日時	令和2年9月1日(火) 午後6時30分～9時	
開催場所	中野区役所	
出席者	委員	竹之内勝、亀山正樹、成嶋伸浩、杉谷華織、小林正朋、渡辺直樹、藤田由紀、甚野誠一郎、大柴文子、熊谷恵子、遠藤純子、河村明彦、永田純一（敬称略、名簿順）
	事務局	子ども・教育政策課学校再編・地域連携係
会議次第	【議事】 1 標準服の検討について 2 プレゼンテーションの実施について 3 その他	

第4回 第四中学校・第八中学校統合委員会標準服検討部会 会議要旨

1 開会

部会長

それでは、第4回標準服検討部会を始める。前回に引き続き、本日も事業者の選定について協議することから、非公開とし、傍聴は許可しない。

議事（1）標準服の検討について

部会長

前回の検討部会で事業者からのデザイン画等の提案を審査し、5社から3社に絞り込んだ。本日は、その3社による標準服候補のプレゼンテーションを実施する。プレゼンテーションの実施にあたって、事務局の説明を求める。

事務局

■資料「標準服候補プレゼンテーション時程」

「標準服プレゼンテーション 評価表」説明

（概要）

- 各社2案ずつ計6案についてプレゼンテーションを行うこととする。
- 説明時間は各社20分、質疑応答は見本品に触れる時間も含め各社10分間とする。なお、準備・撤収時間は各社10分とする。
- 時間はタイマーで管理し、終了5分前と終了時をアラームで知らせる。質疑応答中であっても、終了時のアラームが鳴った時点で打ち切ることとする。
- 3社のプレゼンテーション終了後、各社の見本品を比較しながら改めて検討できるよう、別室に全ての見本品を並べておくので、評価の参考にしよう。

○全社のプレゼンテーション終了後、評価表の総合判定欄に1位から順に5点～0点を記入する。
評価表は事務局が回収・集計し、集計結果をもとに、本日は標準服候補として1社の標準服を選定する。

部会長

それでは、プレゼンテーションを開始する。

■プレゼンテーション実施

■評価・集計

部会長

集計の結果、1位の東京管公学生服のタイプBを標準服候補として選定したいと思うが、よろしいか。

<異議なし>

部会長

それでは、今後の流れについて、事務局の説明を求める。

事務局

標準服候補については、細部の仕様まで確定した上で、9月29日の統合委員会において報告する。ネクタイ・リボンを着用するかどうかを含め、どこまでを標準服の範囲にするかについては、両校の校長に一任したいと思うが、よろしいか。

<異議なし>

事務局

標準服候補について、何か意見はあるか。

委員

タイプAは、ボタンホールが左右両側にある男女兼用ブレザーであるが、タイプBは、男子用と女子用でブレザーが異なる。金額は変更せずに、今回選定したタイプBのブレザーにも、左右両側にボタンホールをつけてほしい。

委員

夏場はノーネクタイで授業を行うのか。

部会長

第四中はネクタイ・リボンがなく、第八中は学ランのため、他校を例に言うと、夏場は式典を除きネクタイ・リボンを外すところがほとんどだと思う。

委員

イメージとしてはサラリーマンと同じで、夏場はノーネクタイである。

委員

スラックスについては、夏冬兼用タイプのみだと温度調節の面や耐久性の面で懸念が残るのであれば、業者に相談した上で、夏用と冬用の両タイプを採用できるように値段を調整することになると思う。

事務局

エンブレムのデザインはどうするか。

部会長

業者には、校章デザインが決定した段階で、エンブレムに校章デザインを取り入れることがで

きるのか、金額的に作成が可能か等を相談したい。

委員

エンブレムのデザインについては、校章ができてから検討することにしても良いと思う。

委員

標準服の内容にワイシャツが含まれていないが、白色であればボタンダウンでも良いとする等、何か委員の皆さんから意見はあるか。

事務局

現在の第四中・第八中では、ワイシャツを標準服の範囲としていない。ネクタイやリボンのほか、ワイシャツ等も含めて、どこまでを標準服とするのかについては、両校長の話し合いにより決定したい。

部会長

第八中では、ワイシャツの色は白色とする規定はあるが、ボタンダウンのタイプを着用している生徒はいない。

委員

第四中はオプションとして指定のワイシャツも売っており、入学当初はそれを着用している生徒も多いが、白色のワイシャツであれば何でも良いとしている。

部会長

ネクタイの柄は、スラックス・スカートと同じチェック柄のデザインであるが、ストライプの方が良い等、何か意見はあるか。

事務局

今後、学校と業者間での調整事項としては、左右両側にボタンホールをつけること、ネクタイ・リボンの柄や着用についての確認、スラックス・スカートは夏冬兼用タイプで良いか、ということを確認したい。また、エンブレムは校章デザインを取り入れることも視野に、詳細を詰めていきたい。最終決定した標準服については、9月29日の統合委員会における部会長からの報告を前に、写真とともに修正した内容を委員の皆さんに報告する。

部会長

それでは、これをもって標準服検討部会を終了とする。